

7/28 1) ほうと君

この本では

ほんの生活は

作文用紙の1ページ目

川は生きつゝいる

西 諒人

日本は、山国です

森林のおかげで

川の水がゆたかなのです

水道のじくちをひねるとき、あなたは

その水が、どこかへ運ばれてくるから、考えた

ことがありませんか、と書かれていますか

僕はある日の出来事をふと思ひ出しました

公園で走り回っていたのが、いかに

水とうの中身も空っぽで、いかに

につき落とされたとう、いかに

に帰り、一目散にキョウチンへ

ええぞいきおいよく一気飲みしました

もう一ぱい飲みながら、やいやいと安心し

た僕の目に入って来たもの、それは、水道水

の普及率が低い国の現状を映し出したもの

だ。それからの僕は、やっぱり一口ずつ

水を味わって飲みたい、飲みたい、水とは

同じ。それは思えない程のどきに、

今までほしいとき、好きなだけ水を使うこ

とが普通と違って、自分の生活

ました



立派な感想文を書いたね

体言よめんと  
敬体も直して  
ありたお

自分の住所、名前をのましよう  
(作文用紙の1枚目のみ)

西 諒 人

水を飲むたびに考えるようになった。二〇一八年国土交通省  
 ネットで検索した。この一八年国土交通省  
 の調査では、水道水を世界で安全に利用でき  
 る国は、たった九ヶ国、利用はできるが注  
 が必要なのは二十一ヶ国、その数に比  
 べると、日本は恵ま  
 れた国だと自覚はあつたものの想像以上のデ  
 ータだ。  
 提防をきかず、川と共存してきた歴史を知  
 りたい。それは、今と昔の川に対しての人々の意  
 識の違いだ。  
 川とつき合うというこはなんとむつか  
 しいことでしょう。水はなんと人間の、思い  
 とおりにいかないものなのでしようか。  
 最近、水害が増えすぎています。洪水や氾濫  
 している時の画像や動画を見るとまるで川が  
 激怒しているかのように見えます。  
 昔、川は人間にとって生活の基盤となるも  
 のであり、文明の発展に必要不可欠な存在で

この本は

僕は

川が

国

川

と

り

た

あり

自分の住所と一筆をばらましの  
作文用紙の1枚目のみ

作文用紙  
この本には、また

あつた。しかし、  
人間はつかった水もよこれたまま川にす  
てていきます。よごれた水は、工場からも家庭  
からも、はきだされていきます。と書きかいてみました

母は  
人と川といつてもか人間同士の関係性にと  
ているよぬ。優しくされれば嬉しいうし。  
扱いは受けると嫌な気分になる。と

僕が一昔好きだった川は毎週サ  
アいるクラウンの近くに流れていて  
す。桂川は僕にとて大切な場所  
ツカチは4年に何回か川の清掃活動をして

我。いろんなごみがさんさんして川  
毎週、悲しい気持ちにな  
僕にパリをくれる場所だから  
うまくいかなかった。たことがあり落ちこんで

いた時に  
何とかなるよ。大丈夫。と背中を押し  
え。まあ、いいことがあると

僕ならできる。と思わせてくれ  
今読んでる本

くたは

この本

りま

なせ

川

川

いま

川

中ま

自分が書いた  
 親友、だからこそ  
 今、僕にできること  
 水の再利用をする  
 など、大切に扱って  
 てくれるは、おれ  
 環境問題を考える  
 いう結果に  
 自分  
 だ  
 水  
 今  
 親友

大事な  
 環境問題  
 自分

僕

自分

思いました